

未来をつくる 深谷の進学先

なりたい自分がきっとある！
夢を実現する学校です！

正智深谷高等学校

学校の概要・特色

- ・浄土宗の宗門校で、法然上人の教えが校訓の基になっています。
- ・個別指導が充実していて、大学進学率は84%！
- ・部活動が盛んで、強化クラブ・一般クラブ合わせて31の部活があり、男子バスケットボール部、女子卓球部は全国大会の常連です。弓道部や将棋部（女子）も全国大会に出場しています。
- ・埼玉工業大学の付属校で、進学すると優遇措置があります。

コース

特別進学系の特別選抜コース・特別進学コースと、総合進学系の選抜進学コース・総合進学コースの4つのコースがあります。

主な学校行事など

葵祭（文化祭）

学校行事の中で、最も盛り上がるのが文化祭です。昨年は埼玉工業大学とコラボをして、大掛かりなアトラクション『コーヒーカップ』を作成したクラスがありました。チアリーディング部やダンス部の演技披露、吹奏楽部や軽音楽部の演奏、創造芸術部の写真やアートの展示など、催しや展示が盛りだくさんです。今年は9月13日（日）が一般公開日となっていますので、ぜひお越しください。

松川杯スポーツ大会

理事長である松川先生の名前を冠した、クラス対抗のバスケットボールとドッジボールの球技大会です。クラスでおそろいのTシャツを作り、一致団結して戦います。当日は深谷ビッグタートルを貸し切り、毎年熱戦が繰り広げられています。

焼きたてのパンを提供するパン屋さん『GREEN FLAG』

本校の調べでは、校内にパンを焼く窯がある県内唯一の高校で、毎日焼きたてのパンが食べられます。2時間目の休み時間前から販売され、昼休みまでにほとんどのパンが売り切れるほどの人気です。また、パンは対面販売だけでなく、毎朝パン屋さんが補充する校内の自動販売機でも販売をしています。

主な進路先

国立大学 神戸大学・筑波大学・東京学芸大学・東京農工大学

私立大学 早稲田大学・慶応大学・上智大学・東京理科大学・明治大学・青山学院大学・立教大学・中央大学・法政大学・学習院大学・成蹊大学・成城大学・明治学院大学・獨協大学・國學院大学・武蔵大学・日本大学・東洋大学・駒澤大学・専修大学 ほか



学校法人智香寺学園 正智深谷高等学校

住所 〒366-0801
上野台369
電話 571 - 1065（代表）



▲公式インスタ
グラム



▲高校ホーム
ページ



障害福祉 申請が必要な手当

下記の手当を受けるには受給申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。

図障害福祉課（☎ 571 - 1011・☎ 574 - 6667）

	特別障害者手当	障害児福祉手当
対象	20歳以上で、重度の障害により常時特別な介護を要するかた ※3カ月以上の入院中のかたは対象外 ※寝たきりの状態などで、要介護4・5相当の一部のかたを含む	20歳未満で、身体障害者手帳1・2級の一部のかた、療育手帳相当のかた ※障害を事由とする年金を受給しているかたは対象外
金額	月額30,450円	月額16,560円
備考	認定には医師による診断書の提出が必要です。所得に応じて支給制限があります。また、施設に入所中のかたは対象外です。	
現況届の提出	特別障害者手当・障害児福祉手当を受けているかたは8月12日（水）から9月11日（金）の間に、現況届（所得状況届）の提出が必要です。この届出は前年の所得状況を確認するためのもので、提出をしないと8月以降の手当を受けることができません。受給資格のあるかたには、8月中旬までに通知を送付します。必要書類や内容を確認の上、必ず手続きをしてください。	

在宅重度心身障害者手当

対象	65歳未満で、身体障害者手帳1・2級、療育手帳A・A、精神障害者保健福祉手帳1級に認定されたかた
金額	月額5,000円
備考	所得に応じて支給制限があります。また、施設に入所中のかたは対象外です。

第5話

後継の重圧



立志と忠恕の後継者

敬三物語

渋沢敬三が中学校に入った年の明治42（1909）年ごろから、敬三の父であり、栄一の息子、篤二は家に居着かなくなり、家を出た理由は、栄一の後継者という自分の置かれた環境、その重圧が篤二に重くのしかかってきたためでした。篤二が家を出てからしばらくして、敬三は栄一に呼ばれました。客間に行く、そこには既に、家中の書生（他人の家に世話になり家事を手伝いながら勉学する者）や女中（お手伝いさん）がいました。栄一は上座に座ると、今日、みんなに集まってもらったのは別のことでない。既に承知とは思いますが、敬



▲若い頃の渋沢敬三（『柏葉拾遺』（柏窓会1956年）所収）

三の父親が長らく家を空けて帰らぬ、困ったことだ。この子は男親があっても無いも同然のかわいそうな子で、わしもふびんに思っておる。どうかそういうことで、特別に面倒を見て育ててもらいたい。」と頼み、敬三も栄一に促され「よろしくお願ひします。」と頭を下げました。それを聞いて、集まったみんなからおえつが漏れました。時はたち、父の居なくなった家で、敬三は進路について悩んでいました。4年生（当時の旧制中学は5年制）の1月になっても志望科について迷っていました。敬三は理科を志望していた、大学も理学部へ進もうと考えていましたが、篤二の居なくなった今、栄一がよい顔をしません。そして「家」を継いでほしいという栄一の言う通り文科を選び、仙台の第一高等学校（旧制・現在の東北大学の前身校の一つ）の英法文科を受験します。